

令和元年度学校関係者評価

※評価の基準 4:十分達成された 3:概ね達成された 2:やや不足な点がある 1:ほとんど達成されていない

評価項目	評価指標	学校自己評価コメント	令和元年度自己評価	平成30年度自己評価	学校関係者評価	学校関係者評価コメント
1 踏障 まが えい たの 専 門 態 性 や の 特 高 性 い 等 教 を 育	1-① 児童生徒や保護者のニーズに応じた個別の指導計画を作成し、指導に活用している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>校内LANを活用した教材の共有化のために教材の収集と整理ができた。</li> <li>児童生徒の実態に合わせた指導を行うために、学期途中での学習グループの見直しを行うなど、柔軟な対応による成果が見られた。</li> <li>国際交流は児童生徒がとても意欲的に取り組み、ステップアップも見られ、継続して取り組んでいきたい。</li> <li>保護者からは個別の指導計画を活かした指導やわかりやすい授業を行っている、児童生徒が学校に行くのを楽しみにしているという評価を得ている。</li> </ul>	3 (3.2)	3 (3.2)	3 (3.2)	<ul style="list-style-type: none"> <li>子ども達の表情が生き生きとしている。様々な発達段階の子ども達に合わせた指導・支援ができていていると感じる。</li> <li>小中高とも学校に行くのを楽しみにしているという回答があり、いろいろな面で工夫されていることが高評価につながっている。</li> <li>卒業後を見据えて計画的に進められている。教育が個々の状況を考えて行われている。</li> </ul>
	1-② 根拠に基づく指導が行われるよう、実態把握や指導計画の作成、評価を行っている。		3 (3.2)	3 (3.1)	3 (3.2)	
	1-③ 学習効果を高めるために教材教員の工夫や改善を行っている。		3 (3.3)	3 (3.2)	3 (3.2)	
2 組 織 々 的 な で 課 柔 題 軟 に 性 対 の 応 あ し た 教 育 的 計 画 的	2-① 学校、家庭、寄宿舎が連携して効果的な指導を行っている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>課題研究については、外部講師を招いてのキャリア教育に関する研修や自立活動の指導の在り方、キャリア教育に関する評価の在り方、主体的・対話的で深い学びの視点に立った授業の創造など、各学部・学年の児童生徒の指導に直結してやりがいを感じるとともに専門性の向上につながっている。</li> <li>県の推進事業(3年間)夢×人×地域「社会とつながる特別支援学校」の中で、特に高等部で、作業学習の再編や企業・地域との連携、職業コースの設定など、新たな課題に取り組むことができた。</li> <li>授業研究を通して指導力の向上を図っているが、他学部の参観になかなか行けないなど、学部学年内での調整に課題がある。</li> </ul>	3 (3.2)	3 (3.2)	3 (3.2)	<ul style="list-style-type: none"> <li>個人の自立を考え、家庭との連携がとれている。</li> <li>学校と家庭、寄宿舎、相互の連携の大変さを感じる。放課後デイサービスが加わり、家庭で過ごす時間が短くなっていく中で、家庭、家族の力をどのように育てていくのか、どこも同じ課題だと考えてしまう。</li> </ul>
	2-② 課題研究の内容は適切で、今後の指導に役立てるための研究になっている。		3 (3.1)	3 (2.9)	3 (3.0)	
	2-③ 職員研修の内容は適切で、専門性や資質の向上を図っている。		3 (3.1)	3 (3.0)	3 (3.0)	
3 小 中 高 一 貫 し た キ ャ リ ア 教 育	3-① 児童生徒の自立と社会参加を目指し、小中高一貫したキャリア教育の推進している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>小中学部の早期からの進路指導については、さらに進めていく必要があるが、進路支援部のリーダーシップのもと、意識の高まりなど成果が現れている。</li> <li>高等部3年の「卒業生が困ったケース」や中学部の「高等部見学」など児童生徒のニーズに応じた学習を組み、意識や関心の高まりにつながった。</li> <li>個々の生徒の進路希望を把握し、実習等に活かし、進路決定につなぐことができた。</li> <li>先輩をよい手本や将来像として意識させるために、小中高の児童生徒がお互いに関わる機会をもっと増やす必要がある。</li> </ul>	3 (2.9)	3 (2.8)	3 (3.0)	<ul style="list-style-type: none"> <li>卒業後も相談できる先生たちがいるので、うれしい、自分で選んで進路を決めるなど、その子に合った仕事につながっている。</li> <li>仕事の体験を増やせる機会があると良い。実習の期間以外でも受け入れがあると良い。</li> <li>個別の進路対応がしっかりできている。</li> <li>進路担当の先生によくしていただいているが、異動の心配があり、引継ぎをしっかりしてほしい。</li> </ul>
	3-② 個々のニーズに応じた進路指導や進路相談等を行っている。		3 (3.2)	3 (3.2)	3 (3.3)	
	3-③ 保護者や関係機関と連携した進路支援の充実を図っている。		3 (3.2)	3 (3.1)	3 (3.3)	

4 地 域 報 か の 発 信 頼 及 さ び れ 保 護 者 や 学 校 や づ く り	4-① 地域の資源や人材を生かした学習活動に取り組んでいる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 交流学习や学校間交流は、次年度以降予算の関係で、見直しを迫られているが、これまで成果を上げてきており、相手校の理解や協力を得ながら継続していきたい。</li> <li>・ 高等部の作業学習等で農福連携など地域資源の活用を図りたい。</li> <li>・ 今年度も地域や関係機関への情報提供で保護者の評価が低く、学校の取組や必要な情報の発信をより積極的に行っていく必要がある。</li> </ul>	3 (2.7)	3 (2.6)	3 (3.0)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 交流学习や学校間交流、居住地校交流など、様々な成果をあげている。双方にメリットがあると感じる。</li> <li>・ 他校や他事業所等との意見交流は継続できるとよい。自立支援協議会としても就労面で意見交換会を実施したいと考えている。</li> <li>・ 学校からのお知らせ等の文書は、早めにもらえると助かる。1班10～15世帯あるので回覧に時間がかかる。自治会の祭り等にも参加してもらえるとありがたい。</li> </ul>
	4-② 保護者や地域に学校の取組や必要な情報を伝えている。		3 (3.1)	3 (2.9)	3 (3.0)	
	4-③ 近隣の小中学校等との学校間交流や居住地校交流を推進している。		3 (2.9)	3 (3.0)	3 (3.0)	
5 の 地 域 の タ 特 別 的 支 援 能 力 教 育	5-① 地域の小・中学校等に特別支援教育に関する相談や情報提供を行っている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ チーフコーディネーターや指導教諭、主幹教諭等が外部機関との情報の共有化を図り、連絡調整や支援会議がスムーズに実施できた。</li> <li>・ リレーショナルオープンスクールを今年度は宮崎地区特研と共催し、50名程の小中学校の特別支援学級担当者の参加があり、好評を得た。</li> <li>・ 高等学校の通級指導に関しては、特に特別支援学校の自立活動について情報提供を行っていく必要がある。</li> </ul>	3 (3.0)	3 (3.0)	3 (3.2)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域の学校へのフォローがより整うといいのではないかと感じる。自由に動ける先生が増えるといいと感じる。</li> <li>・ 地域の学校への発信は、先生以外にも保護者からの発信があってもよい。</li> <li>・ 地域の小学校に入学した子どもがうまくいっていないケースが数件ある。地域の小学校の特担の先生方へのサポートをお願いしたい。</li> <li>・ リレーショナルオープンスクールに関しては継続した取組となり、地域に対して情報発信に貢献している。</li> <li>・ 福祉作業所からの評判はよく対応してもらっていると聞いている。</li> </ul>
	5-② 福祉や医療機関等、関係機関との連携を図っている。		3 (3.2)	3 (3.1)	3 (3.2)	
6 の 安 全 備 ・ 安 心 な 教 育 環 境	6-① 施設や設備は安全に管理・維持されている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 昨年度に続き、災害時の引き渡し訓練を実施し、小学部74%、中学部47%、高等部54%の家庭が参加した。</li> <li>・ 施設設備の点検を定期的に行い、営繕や不用物の撤去など、安全な教育環境の維持に努めた。</li> <li>・ 緊急時対応マニュアルの整備及び定期的な見直しを行っているが、地域との合同避難訓練や不審者対応訓練、福祉避難所としてのあり方などについては課題もある。</li> <li>・ 保護者からは、備蓄や防災バッグ、その子の安心できるグッズなどの準備について気になるとの意見があった。</li> </ul>	3 (3.1)	3 (3.1)	3 (3.2)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 非常災害用の備蓄が計画的にされている。</li> <li>・ 購入した物を展示することで、見る機会があり安心できると感じた。</li> <li>・ 学校の安全点検を保護者も一緒に行っているのはよいなと思った。</li> <li>・ 引き渡し訓練は非常に大事だと思う。事業所でも参考にさせていただきたい。</li> <li>・ 実際の被災を経験した地域の声をPTAを含めて聴く機会があると良いと思う。</li> <li>・ 交通事故や不審者侵入など、防犯カメラの設置を含めて備える必要がある。企業として協力できる部分もあるので申し出てほしい。</li> </ul>
	6-② 災害や不審者対応等、緊急時の対応が整備されている。		3 (3.0)	3 (3.0)	3 (3.2)	